

北部普及だより

(豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町)

持続可能な地域を目指して法人設立 ～豊能町牧地区～

現在、全国の多くの地域で高齢化、鳥獣被害などから営農継続を断念する農家が増えてきています。そうした中、豊能町の牧地区では、平成24年度に地区内の農業の活性化方策等を検討する「牧地区農空間活性化協議会」（以下、協議会）を設立し、棚田の保全や獣害柵の設置、生協と連携した農地保全活動などを行ってきました。

しかし、地区内の農地を保全し、営農を継続していくには担い手の問題を解決していく必要があり、協議会でのアンケートや聞き取り調査などを基に、集落営農組織の設置や農業基盤整備などについての検討を重ね、令和元年6月に『人・農地プラン』を策定しました。

集落営農組織については、外部からの人材も広く受け入れていくことができるよう法人化することとし、8月から大阪府農業経営相談所（大阪府みどり公社）の専門家の派遣指導を受け、町や当事務所も交えて事業計画づくりを進めてきました。その結果、10月に、地元農家の出資による「牧のさとやま合同会社」（以下、合同会社）が誕生しました。



▲専門家と事業計画作成



▲しゅんぎくの出荷調整指導

合同会社の経営を継続させていくには、収益性の高い品目の生産が必要なため、夏でも冷涼な気候を活かした「夏越しのねぎ」と「夏まきのしゅんぎく」を主要出荷品目に栽培実証試験をおこなっています。牧地区ではこれまで水稻中心の栽培が行われてきたため、播種、育苗、定植、防除、施肥、出荷調整と初めての作業が多く、当初は戸惑いも見られましたが、販売までこぎつけることができました。

9月のしゅんぎくの出荷を終えた時には、「夏涼しい気候を活かして品薄の時期に生産できた。」「出荷調整も想像していたより簡単でよかった。」などの意見をいただき、売れ行きも好調でした。

当事務所では、今後も栽培指導を行い、ねぎ、しゅんぎくの定着を図るとともに、法人運営の課題解決への取組の支援を行っていきます。

■実証試験のポイント

- ①ねぎはセルトレイ育苗中に夏越しさせる
- ②しゅんぎくの高温時の発芽促進
しゅんぎくは盆過ぎに一昼夜浸漬後は種（元肥なし、追肥は有機質肥料）
- ③ねぎ、しゅんぎく共に、夏場の雑草繁茂を防ぐため、除草剤を使用

国連では、2030年までの国際目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」が2015年に策定されました。北部農と緑の総合事務所 農の普及課の活動はSDGsに掲げる17のゴールのうち、以下のゴールの達成に寄与するものです。

〒567-0034

茨木市中穂積 1-3-43 三島府民センタービル内

TEL.072(627)1121(代) FAX.072(623)4321

生産技術

鳥獣被害対策講習会を開催しました！

府では、野生鳥獣による農作物被害の防止対策推進のため、市町や農業協同組合の担当者、地域の集落リーダーを対象として、国の野生鳥獣被害対策アドバイザー等の専門家による「鳥獣被害対策指導人材育成講習会」を実施しています。今年は11月8日に能勢町役場、11月27日に高槻市原公民館で開催しました。

能勢町ではイノシシ、シカの生態と農地への侵入方法について講義があり、特に、シカがネットのたわみ部分に体重をかけて侵入することに受講者は非常に関心を持っていました。

高槻市ではシカやイノシシ、サルの生態や対策や効果的な電気柵の設置のポイントについて講義がありました。電気柵はケモノ目線で設置し、特に水路に接している農地では、イノシシは水路を飛越えその勢いで電気柵を倒してしまうので、電気柵の手前にはイノシシが鼻で探索できるスペースを確保する必要があるとの解説など興味深いものがありました。



▲現地実習の様子



▲研修会の様子

詳しい内容は大阪府鳥獣被害対策指導人材育成事業のホームページにも紹介しています。

大阪府 鳥獣害 人材 で検索してください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/nosei/seisyansyasapo-to/chojyujinzai.html>

●シリーズ●GAP(農業生産工程管理)について

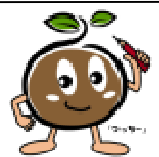
今回は下記のチェック項目に基づいて農薬の保管状況を確認しましょう。
出来ている場合は「適」に、出来ていない場合は「否」にチェックしてみましょう。

| チェック項目 | 適 | 否 |
|--------------------------------------|---|---|
| 農薬を農薬保管庫以外に放置していない。 | | |
| 農薬保管庫にはカギがかかる。 | | |
| 農薬保管庫に、種苗、農産物、出荷資材、防除器具等他の資材は入っていない。 | | |
| 使いかけの農薬は封をしている。 | | |

皆さん、全ての項目で「適」にチェックできましたか？
これはほんの一例ですが、普段から当然のように行っている事を確認、記録しておくことが「GAP」です。皆さんもGAPを始めてみませんか？
始めてみようと思われた方は農の普及課まで連絡を！

2020年農林業センサスにご協力ください

令和2年2月1日現在で、2020年農林業センサスが実施されます。
農林業を営んでいる皆様のところに調査員が訪問しますので、ご協力をお願いします。



○バックナンバーは、事務所HP「ほくほくほくぶ」で見られます。
<http://www.pref.osaka.lg.jp/hokubunm/youkoso/index.html>
○プロ農家等に技術情報をお届けする「おおさかアグリメール」配信中！
<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/agrimail/>
○いいもん!うまいもん!大阪産(もん!)の情報はこちらから！

